

令和3年度第1回稲沢市総合教育会議 会議録

1. 日 時 令和3年7月16日（金）午後2時45分～4時10分

2. 場 所 稲沢市役所 政策審議室

3. 出席者

市 長 加藤 錠司郎

教 育 長 恒川 武久

教 育 委 員 吉川 繁樹 小川 仁美

江本 弘子 城 義政

伊藤 浩樹

教育委員会

教 育 部 長 荻須 正偉 部次長兼庶務課長 大口 伸

庶務課統括主幹 森 義孝 庶務課主幹 大崎 敬介

庶務課主幹 犬飼 貴志

学校教育課長兼指導主事 近藤 慎二 学校教育課統括主幹兼指導主事 松村 覚司

学校教育課主幹兼指導主事 伊藤 実

生涯学習課長 佐藤 雅之 スポーツ課長 内藤 邦将

図書館長 塚本 ゆかり 美術館長 尾崎 登紀子

書記 庶務課 稲山 美佳

4. 傍聴人の数 3人

5. 協議事項

(1) 小中学生の体力低下について

(2) 学校給食について

6. 報告事項

(1) タブレット端末活用の現状について

7. その他

## － 開 会 －

### ●庶務課長

定刻になりましたので、令和3年度第1回稲沢市総合教育会議を開会します。

(市長あいさつ)

### ●庶務課長

ありがとうございました。本会議は稲沢市総合教育会議設置要綱第5条第1項の規定により市長が議長を務めることとなっておりますので、会議の取り回しについては、市長をお願いいたします。

#### ◎市長

規定でありますので、議長を務めさせていただきます。進行に御協力をお願いします。

それでは、協議事項に入ります。「小中学生の体力低下について」を協議したいと思います。学校教育課から資料の説明をお願いします。

### ●学校教育課長

(別添の資料により説明)

#### ◎市長

ありがとうございました。資料のとおり稲沢市は体力調査の結果が全国・愛知県平均よりも下回っております。学校教育課から説明を受けまして、委員御意見いただけますか。

#### ○委員

1点目は、学力状況調査については、かなり細かい分析がされていますが、体力調査については、どのような要因があるのかを把握していただきたいです。また中学校より小学校の方が、かなり顕著に体力が低下しているなど、資料をみて思いました。小学校ですと、放課後の利用、体育の授業の工夫など学校教育が担っていくところがあると思います。最近授業をみせていただく機会がありますが、体育の授業で先生方がかなり工夫されていると感じました。45分、1時間の授業の中で子どもがどれだけ運動の時間を持つことができたか、と考えますと、マット運動の授業など、マットの枚数が多かったり、能力別、技術別に練習するマットのレーンを選択させていたり運動の時間の確保をかなり先生方が努力されていると感じました。

2点目は、20分放課の時間がある場合は、持久走大会、球技大会がある場合は、それに向けて放課の時間で練習するなど、放課の時間を有効活用されるといいのではと思いました。

3点目は家庭への啓発です。何か家庭でできることはないか、啓発できないか、と感じました。

◎市長

ありがとうございました。委員いかがですか。

○委員

小中学生の体力低下は、急に話が出たわけではなく、昭和60年頃をピークにしてどんどん低下しています。今は下げ止まりの状態かと思います。問題は山積みで、簡単には解決しないことだと思います。それぞれの学校で体力テストを行い、自分の学校の実態を知ることが基本だと思います。データを出して、発表するだけに留まらず、自分の学校の強い部分、弱い部分をすべての先生が共有して、そこからできることを体育の授業だけではなく、いろいろな場面でできることはないかとスタートして、取組みが長い中で結果が出てくると思います。

家庭生活の中での、親の意識も大事だと思います。自分の子どもはこうだと親と共有していくことも大事だと思います。

◎市長

ありがとうございました。委員いかがですか。

○委員

私はずっと子どもに野球を教えていたのですが、自分の体力テストの結果を小学生にもしっかり伝えてあげると、子どもは想像以上に自分で考えて、動いてくれると思います。学校側、家庭側もありますが、本人の意識を高めながら、みんなでサポートするやり方が大事ではないかと思います。

◎市長

ありがとうございました。委員いかがですか。

○委員

稲沢市はわりと田舎なので、外で遊んでいる子が多いなという感覚だったのですが、体力テストの結果が平均より低いということで、かなり驚きました。

運動といえば、スポーツ教室に通っている子はかなり運動していますが、そうではない子との差があるのではないかと思います。ボール運動やなわとびなどコロナ禍もあり、一人でも継続して続けていけるような基礎体力を上げていける運動を学校や家庭でも取り組んでいけるといいのかなと思いました。

◎市長

ありがとうございました。委員いかがですか。

○委員

私は小学校の校医をやっております、しゃがみこみを嫌がったりして、和式トイレの利用が難しいのではないかという、基本的なことができない子も見受けられます。体育の授業において、前屈、後屈、しゃがみこみなどにも取り組んでもらうことはできないでしょうか。

また持久走大会が1月2月の寒い時期ではなくて、10月11月ではいけないのでしょうか。特に小学生には寒すぎるのではと思います。

◎市長

ありがとうございました。委員さんのさまざまな御意見を受けて学校教育課何かありませんか。

●学校教育課長

大変貴重な御意見をありがとうございました。現在各学校の意識を向上させるために、教育委員会から校長会議、教頭会議等を通じて、体力の現状について伝えております。学力向上が求められている中で、心の育成、体力向上も大事にしてほしいと伝えていきます。日頃の取組みとして、行事予定表のなかには、持久走大会、縄跳び大会、縦割り活動の〇〇大会、などがあります。各学校でやれる範囲で、体育の授業以外での運動についても、進めている現状です。

◎市長

稲沢で野原、川で遊ぶというのは、この時代には現実的には難しいかとは思いますが、自然はありますので、小学校低学年などは、そういったところで遊ぶ時間を保護者も確保できればいいのかなと思います。

体力低下について、問題は根深いものがあると思いますが、学力向上はもちろんです、体力についても十分に配慮をしていただけるように、機会あるごとに先生方にお伝えしたいと思います。

◎市長

それでは次に「学校給食について」を協議したいと思います。はじめに庶務課から説明をお願いします。

●庶務課長

(別添の資料により説明)

◎市長

ありがとうございます。学校給食について、時代の流れが変わってきまして、私の子どもの頃は、床は常に濡れている状態でしたが、今は許されないということで、ウェットシステムの単独調理場はドライシステムの運用でカバーしているという現状でございます。そのような中、学校給食基本計画を策定し、仮称井之口調理場を6,000食規模で作ろうと計画を進めております。

委員、学校給食についていかがですか。

○委員

稲沢市の調理場にお伺いしたことがあるのですが、築年数が非常に古いところが多くて、修復・改築するよりも、新しく建築した方が今後のことを考えるとよいのかなと思っております。

以前、親子方式の稲沢西小学校にお伺いしたことがございますが、給食の温かさや香りなどを感じることができました。メリット・デメリットあるかと思いますが、食育の大切さももちろんですが、安全に提供できるのが大前提だと思います。

◎市長

ありがとうございました。委員いかがですか。

○委員

給食選定委員をしておりますが、各校で調理しているところは、そんなにトラブルがないように思いましたが、調理員の人手不足はあるように思います。

◎市長

ありがとうございました。委員いかがですか。

○委員

食は子ども達を豊かにするものだと思います。子どもがより興味をもてる給食を出していただけるように、いろいろ研究していただきたいと思います。

◎市長

ありがとうございました。委員いかがですか。

○委員

説明資料によりますと、令和7年度2学期には、新しい調理場が開所予定とありますが、具体的に大きな障害や問題はないのかなと思います。

◎市長

ありがとうございました。委員いかがですか。

○委員

子どもが安全で安心した給食をどう提供していくかと衛生面の2点から、説明のあった共同調理場の環境は、かなり整っているのではないかと思います。

調理員さんの自校方式での働き方ですが、私自身現場にいた時は、相当苦勞してみえました。朝から夕方まで働き詰めで、私も「毎日大変ですね、ありがとうございます」とお声がけをして、感謝の気持ちを伝えていました。衛生面においても毎日すごく気を遣ってやってみえたと痛切に感じていました。そういう点で働き方については、どうなのかなと思っていました。子どもにとって美

味しく、安心安全な給食であってほしいと思います。

◎市長

ありがとうございました。私もお話をさせていただきます。1点目は、調理員さんの労働環境が非常に過酷なものであるということです。例えば、お金をかければ別ですが、夏場に涼しい環境で休憩することが、今の自校方式の調理場では非常に難しいです。やはりこれを抜本的に解決するには、共同調理場に集約せざるをえないという気持ちを持っております。また、稲沢市は現業職の退職者の補充をしないということで、現業職の人が減ってきており、よっていずれかは、現業職の方がいなくなる状況がきます。

2点目は、給食を作る技術は進歩しておりまして、温かさの面でも、2重食缶の入れ物ですと、ほとんど冷めることがなく、温かく食べられると聞いております。また、「愛知を食べる学校給食の日」として、年3回、JA愛知西の協力を得つつ、給食に地場産物を取り入れています。共同調理場になることで、JA愛知西の協力のもと、各校に配達していた地場産物を、共同調理場にまとめて配達ができるので、この機会を増やしていけると思っております。子どもにとって、食べるということは、体をつくることであり、思い出にもなりますので、魅力的な給食を提供していきたいと考えております。

◎市長

教育長、これについて御意見ございませんか。

○教育長

給食は安全安心おいしい給食が一番ですが、もう一つ、地域の特色を生かせるのも給食であると思います。食育にもつながりますので、稲沢市の特産物、野菜などを使用して、郷土への想いを感じてほしいですし、伝統的な食材、料理に関心を持ってもらいたいと思います。できるだけ、地場のものを活用できる給食が必要かと思えます。そういう形をつくれるように努力していきたいと思えます。

◎市長

ありがとうございます。庶務課よろしいですか。

●庶務課長

先ほど、委員からの質問で、仮称井之口調理場の建設について障害はないのか、という御質問にお答えします。

お話にもありました、調理員の問題ですが、祖父江町学校給食センターは、調理の委託をしておりますが、そういったことも視野に検討してまいります。

また建設予定地近くには体育館がございまして、駐車場として利用している

場所に建設すると、駐車場の不足が予測されます。建物の建設を含めて地元の方々にご理解をいただきながら、計画を進めてまいりたいと思っております。

◎市長

地元の方々に理解をしてもらう努力はされましたか。議決されてから、日が浅いですが。

●庶務課長

今後、ご理解いただけるよう努めてまいります。

◎市長

地元の方々の理解は大事だと思いますので、子ども達の大切な施設を作るということをご理解いただけるよう努力をお願いします。

食物アレルギー、O157のようなことが起きることを最大限排除できるような施設にしていかなければならないと考えています。

◎市長

それでは、報告事項「タブレット端末活用の現状について」を学校教育課からお願いします。

●学校教育課長

(別添の資料により説明)

◎市長

ありがとうございました。委員いかがですか。

○委員

大変たくさんの方の活用事例を報告いただきまして、頑張ってもらっている様子が分かりました。私自身、スマホでは検索機能をよく使っています。今、漢文の勉強をしているのですが、昔の字を検索するのはなかなか難しいのですが、アプリを使用すると80%くらいが分かります。また、野山の草花の写真を撮影すると、すぐに該当する草花が図鑑から検索されるアプリもあります。検索機能を使うと、時間が短縮できますので、その分子ども達の話合いの時間を多く設けることができると思います。

また、子どもの情報、経験、発想も生かしてあげると、プレゼンをやる場合でも面白い授業が発展していくのではないかと思います。

◎市長

ありがとうございました。委員いかがですか。

○委員

正直なところ、1年前の4月には何もない状態だったのが、各学校の姿を聞かせていただいて、本当にすごいなと正直驚きました。また、先生方の声で ICT

支援員は本当にありがたい、手助けをもらっているという声を聞きましたので、ぜひ、その力がいろいろなところで発揮されるといいなと思いました。また、授業の中で工夫する子どもの姿は生かしてあげてほしいと思います。

◎市長

ありがとうございました。委員いかがですか。

○委員

この間、清水小学校に行きまして、中学校の先生が小学校に赴任されて、英語の授業において、タブレットを使用してみえたのですが、あの時の子ども達の様子は、目をキラキラさせて興味津々で踊りだすほどでした。興味の持てる授業をおこなうと子どもの目が輝くのだなと思いました。一歩ずつそういった授業が増えればいいなと思いました。

◎市長

ありがとうございました。委員いかがですか。

○委員

説明を聞きまして、各校さまざまな利用をされていて、すばらしいなと思いました。是非このさまざまな工夫を各校で共有していただけるといいと思いました。

◎市長

ありがとうございました。委員いかがですか。

○委員

質問ですが、自分が撮った写真や作品は保存することができますか。SDカードなどに入れて家庭に持ち帰ることはできますか。

●学校教育課長

クラウド上に保存することはできますが、SDカードやUSBに移して持って帰ることはできません。家庭でそのデータを閲覧することは仕様上できますが、今現在はそのような設定にしていません。

◎市長

さまざまな御意見、ありがとうございました。委員から ICT 支援員がありがたいという現場の先生の声についてありましたが、実は、予算上大変たくさん費用がかかっています。ICT 支援員について、今後どのような運用をされていく予定ですか。

●学校教育課長

学校教育課としては、いずれタブレット持ち帰りを予定しておりますが、家に持ち帰るとなると、新たな使い方や運用を考えていく必要があります。その



時までは当面は ICT 支援員のお力をお借りしたいと思っています。

◎市長

教育長、何か御意見ございますか。

○教育長

委員からいろいろご指摘、お褒めいただきました。子ども達は、タブレットを使っている時は生き生きしておりますので、是非その意欲を持続させる中で、学習の充実に結び付けていきたいと思っています。ただ1点、今日の資料の中で、タブレットの概況調査として、6月のある日、7月のある日という調査になっていますが、今後活用状況を比較していくためには、全体がみえるような期間にして、その中で、学年や教科での使用実態を明らかにしていただきたいです。先生方は大変だと思いますが、今後比較していく場合により正確なものにしてほしいと思います。

資料の実践例も1つの学校だけではなく、各学校で共有して活用していただきたいと思っています。

◎市長

ありがとうございます。皆様からさまざまな御意見がいただきました。これからも稲沢市教育委員会、稲沢市が共に力を合わせて、子どもたちの学びの充実を進めていきたいと思っています。教育委員の皆さまありがとうございました。これ以降は事務局お願いいたします。

●庶務課長

市長ありがとうございます。ここで次回開催日時についてご案内いたします。次回開催日時は、来年2月18日（金）午後2時45分を予定しております。よろしく申し上げます。

これをもちまして、第1回稲沢市総合教育会議を閉じさせていただきます。本日は、ありがとうございます。

— 閉 会 —